



奈良医大教員の皆様 本年度もMBT研究所と連携して “研究グループリーダー募集”を継続します

- ・2018年2月に細井理事長・学長より研究グループリーダー募集のメッセージ（裏面参照）が発信されました。
- ・これまでに**9件**の応募があり、その対応として提案者と相手先企業様との検討会や、MBT活動を通して発信を行い連携を呼び掛けて参りました。
- ・その成果は、
 - 企業や研究機関との連携成立 **3件**
 - MBTオープンミーティング等で技術紹介 **3件**です。
- ・この取り組みは、期限を設けずに継続して進めて参ります。いつでもご提案をお待ちしております。

◆応募手続き

- ・所属長とご相談の上、下記事項をA4サイズ1~2枚で記載の上、下記事務局へメールしてください。

- 1、研究テーマ（概要、特徴、研究計画、など）
- 2、奈良医大 所属・氏名
- 3、相手先企業の希望（企業名、業種、等）
- 4、相手先企業のメリット

（相手先とは、企業とは限定せず、産総研や奈良先端大などの連携研究機関も含みます）





<2018年2月の細井理事長メッセージを添付します>

研究グループリーダー募集

理事長・学長 細井 裕司

皆さんの研究テーマを企業と共同研究にすることによって、研究規模を大きくしませんか。

1. 研究グループリーダーを募集します

一人の研究者が単独研究をする場合には、研究者一人で、実験・データ整理・論文作成を行わなければなりません。企業と共同研究すると、企業側から例えば5人の研究者が参加した場合には、研究者6人の研究グループができます。研究グループの研究代表者は奈良医大の研究者が務めることとなり、人材・研究費は企業が負担します。これにより、単独研究の場合に比べ、大規模な研究ができます。さらに研究成果は論文にとどまらず、新製品や新サービスとして世界に発信されることとなります。

MBT (Medicine-Based Town、医学を基礎とするまちづくり) 研究所では「先生方は論文を執筆し、企業はビジネスを展開する。特許は双方で分ける。」との考え方の元に先生方のテーマと企業のニーズのマッチングを図っております。現在、12教室と企業とのマッチングが成立・進行中です。

しかしながら、MBT 研究所を通じたマッチングでは、若い先生が研究グループリーダーとなっている例は少ないです。若い先生の場合、企業との付き合いの経験がなく、どうすればよいのかわからないということが多いのではないかと推察しております。そこで、「自分にはこのようなニーズ・シーズがあり、企業との共同研究ができるのではないか。」というアイデアをお持ちで研究グループリーダーになっても良いとお考えの方を募集いたします。もちろん若い先生ばかりではなくベテランの先生も大歓迎です。

頂いたご提案は MBT コンソーシアム参加企業とのマッチングを図るほか、MBT 研究所のネットワークを使って、関連企業等とのマッチングも試みます。これまで、MBT の活動は企業側から提案があり、それに対して奈良医大が対応していくという形でしたが、これからは奈良医大側から企業側に積極的に提案することもしていきたいと思っております。

MBT 研究所の前身である「住居医学講座」では企業からの寄附は総額6億円にものぼり、住居医学講座における研究のみならず、他の33講座にも研究奨励金として3億円の配分が行われ、本学全体の研究活動の活性化に資するものとなりました。このように企業との共同研究は奈良医大のメリットが大きなものとなることが少なくありません。奮ってご応募をお願いいたします。